

令和3年度 大阪府立大阪北視覚支援学校 学校運営協議会 第1回 実施報告書

日時	令和3年7月2日（金）9時28分～11時08分	
場所	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階	
出席者	委員	[出席]猪又則広 亀甲孝一 佐々木一男 柳川敏美 山根純子 山本利和 [欠席]
	事務局	太田淳一郎(校長) 南貴子(教頭) 小林憲央(教頭) 山本雅史(事務長) 辰巳純子(首席) 林幹夫(首席) 滝口寛紀(首席) 浅間耕一(教育企画部長)
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 第1回 学校運営協議会 レジユメ 令和3年度 学校経営計画 	
協議要旨	議題	協議結果(○) - 意見の概要(-)
	(1) 会長・副会長の選出	○会長に猪又さん、副会長に山根さんをそれぞれ推薦し承認された。
	(2) 令和3年度 学校経営計画	○昨年度の第3回の協議会で前校長から示した資料から大きな変更はない。分掌の再編を行って取り組んでいる。 ○めざす学校像についての中期的目標と重点箇所1～5を説明する。
	(3) 令和4年度 教科書選定について	○拡大教科書や点字本の見本を紹介しながら、教科書採択の流れを説明。高等部では学習指導要領がR4年度から変わるため、選定に向けてサンプルを見ている段階。点字教科書の選定は原典から1社または2社の中から採択することになっている。承認された。
	(4) 本校の現状について (報告)	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍者数の減少。 ・点字指導や拡大鏡を使った指導などをする経験が得られなくなっている。教員のスキルアップのチャンスがない。地域にはリーディングスタッフが指導を行っているが、後任者をどのように育てるのが課題である。 ・障がいの多様化により、知的障がい、肢体不自由、発達障がいなど個々の実態の把握と、個に応じた指導と評価が大切である。 ・老朽化は以前からPTAとも連携して大阪府教育委員会に伝えている。 ・新しい地域支援、来校した子供の学ぶ部屋などの設置など、5年後10年後の人数を想定して学校の規模を考える。サテライト教室は豊中市でする予定だったが設置場所が問題になっている。
備考		